

みんなの願いは窓口無料 すすめる会ニュース 14-1号

2014年1月15日

発行：福祉医療給付制度の改善をすすめる会

(長野市高田276-8：長野県社保協内)

子ども・障がい者の医療費窓口無料化県知事要望署名 12月末到達1万筆超（第1次目標比1割） 各団体・地域での更なる奮闘をお願いします。



昨年10月、すすめる会湯浅事務局長が県労連幹事会に参加し、県知事署名の推進についてお願いしました。それ以降、県労連傘下の労働組合での取り組みがすすんでいます。今回いち早く、まとまった取り組みを展開しましたコープながの労働組合のとりくみ状況を書記長の甘田さんからレポートして頂きました。

コープながの労働組合では、労働組合の活動をより身近なものとするために「労働組合とは？」や、その「活動の意義」について深める機会を増やそうと『労組 ちょこっと学習会』などと称して学習の場を設けています。今回は秋闘臨時大会（上記写真）の冒頭、その署名活動をするにあたって「子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める運動について」、医療費負担の考え方やその仕組みについて、また窓口無料化を求める運動の意義などについて、長野県社会保障推進協議会の湯浅事務局長を講師として招き、パンフレットをもとに学びました。生活に身近な問題として捉えるきっかけになったものと思います。署名は約1ヶ月で全体で943筆が集まりました。（コープながの労働組合書記長 甘田）

4月末（目標有権者の2割34万人）めざし、加盟団体構成員始め多くの団体・個人をお願いします！

1月10日に開催しましたすすめる会役員会では、12月末の到達を確認し、4月末めざし目標達成に向け、当面以下の活動計画を決めました。

- ①10月の貧困県民シンポ時に送付した各種県的団体、公立保育園・私立幼稚園（保護者会）、児童センター、地区医師会、歯科医師会、全病院、県下自治体労働組合、各自治体議員の他県下の著名人などに賛同依頼文書を送付し、訪問活動を展開する。
- ②活動最終盤の行動として、4月20日（日）全県一斉の街頭・地域署名行動を展開する。それに向け新たにポスター（千枚）を作成する。街頭宣伝用の風船も用意する。
- ③5月中旬、県知事懇談を申入れ、署名を直接わたす。
- ④上記の県知事懇談で状況を踏まえ、6月中旬信濃毎日新聞へ「意見広告」を掲載する。
- ⑤長野県社保協と共同して、「県知事選挙」を意識した「政策チラシ」を作成する。 など